

5/17.

湯川. 挨拶. パリからの批判, 原理的なこと, 基本的な考え方.

豊田. 核戦略.

戦略の定式. 一般的に最終的という.

戦争: 国家間の確執を武力で解決する方策.

戦争の場となる時空. 15kmを尺度とする (ICBMの射程). 時空 ICBMが15kmと対峙する ~30分

時空: 天文学的時空; 人間の時空 (生物学的). 軌道の衛星軌道以上という説.

平面ではなく球面. 曲率の厚さ 200km (早期待機の高さ), 公海, 公空. outerspace.

領域: { 軌道の上上で早期に仕掛ける高さ. という説. はっきりしない. }
{ 軌道の衛星軌道以下

抑止兵器の条件: アメリカの戦略の正否, 抑止戦略の前提.

抑止兵器の条件: 相手に絶大な恐怖心を与えるものである必要がある. BC兵器 (付録. 732)

報復手段として使われる即効的である必要がある. は公然兵器に属しない.

核兵器は平時でも臨戦状態である... という意味がある... 政策と結びつく.

アメリカの戦略の正否.

ORの誤用. 論議は成功した. 付録: 1-2の条件.

アメリカ: 種々防衛.

ORは確率論を仮定する. 過去のり区別現象で有効性が実証されているわけではない.

報告とOR: 公理から出発する. 公理が問題.

大太平洋の戦略

湯川. 恐怖は式で表せる... だろう.

豊田. 中口の核戦略は ^{アメリカの} 原子能に依存する体制である.

田中. タンにアメリカが居るわけにはあるが, 中口にはコントロールがなければアメリカへ大きな脅威がある.

アメリカがタンと居るわけを叩けば口連の分断に有利である.

P.M.

我妻(座長).

久野. 安全保障を前提とした平和という概念 ← 憲法内閣調査会の議論の方向

↓
4か条9条から外れる. 4条とは両立しない.

口連急争でも平和と安全とは identify されている... 平和と安全とはどういふ関係があるか.

独立と革命. 革命を抑える? 独立を抑える? → 安全概念.

平和の中に独立, 革命を含む平和. 安全とモデルと考える立場からはどこまで内容を括弧に入れるか.

平和と安全を区別すれば独立, 革命はどこまで自制しなければならないか.

軍事的安全を min. にして安全は政治的安全. これを部分命令平和はどの形か.

勝つやれることは相手もせぬと云う fifty-fifty の公理があるから 平和五原則も意味がある。
戦争は一言は gigantic なる二行も七文に土着化する傾向がある。口降法もこの両面から破産している。
冷戦も概念の分析。

- 豊田. 平和を創出するための条件.
後田氏の意見. 民族の自立を維持し保障されることが 必要条件である.
- 久野. 口降法後の組織論をなしに 平和共存をいかに成立させる... 共存するものは ビジネス・ゲーム で考えられる。
- 丸山. 口降法的階級斗争と 口降法権力内の斗争. 社会主義イデオロギイ以前とは異なる。
- 大内. レニンの後の社会主義と マルクス時代のそれとは条件が違っている
今の階級: ソ連, 中ロのモロモロの考え. (実力と前提をきつてのみ可能
Communism の ^{世界組織} 平和主義 をする原理, 今の段階で 共存, 必らず勝つ, 自衛力を行使しない。
相手は必らず力を行使せざるを得ない. fifty-fifty で律せられれば 出来るもの。
資本主義イデオロギイと 社会主義イデオロギイの差.
これだけの民族の抱負を認めること自衛が イデオロギイ。

- 丸山. 戦争の概念.
○ 中世: キリスト教的共同体. という一つの文脈のキハバがあった。(政界にはローマ教皇が判断する)
それ正, 不正
○ 近代国家成立以後 は 正義と不正の区別はないという考え (大いに拘らざる) 平等
国家主権 (教会 etc. に対抗する) の概念の登場と共に 口降平等の考え方ができた。
国家と国家の間は 自然状態, 暴力行使は 国家の権利, 行使の rule を定める。
(決闘の rule を定める) — 戦時口降法
但し キリスト教的共同体の概念は生きていた。— 英連の価値観を継承を持っていた。
- フランス革命: 最初の "ボロ" 革命. 普遍的な人間の概念. 人民主権の概念の定式化
口降的変革の介入, 解放戦争の概念の pattern の発生. (フランスの最初)
フランスをイギリスが支援. (正当性の)
イギリス
- 19世紀ヨーロッパでは この考えは発展せず ウィーン会議後の concert of Europe.
43 balance of power の概念. (恐怖の均衡ではない. 多角的戦力の均衡)
戦時口降法の体系はこの時期に整備された. 戦争の定式. (戦争は国家主権の権利)
- 第一次大戦.
正義の戦争の概念が復活. 集団安全保障の考え方, 国家の集りは組織化して
社会. その秩序を乱すものに制裁を加える。
民族自決主義の登場 (これは各小国の平等権利を認めるから 考え方として上のと矛盾)

従って国際聯盟は 希望を失っていた。

○ 第二次大戦

基本的には 第一次大戦後のと同じ、平和愛好国民の組織。国際社会が組織化されている

国際連盟の失敗に引いて 大国中心主義をとった。

戦争概念は昔のと同じ。集団安全保障の基となるべき。

現実との違いは、

テララーが国際社会の秩序として 継承された。それが又 冷戦のたねになった (二つのテララー)。一つのテララーを 確立するには 他を打ち倒さねば (ダシスの十字軍)

アメリカの国際経験の未熟さ 孤立主義の伝統。一方では アメリカの大口責任意識。

国際組織への不信 ← power politics を変えたが 経験がある。

同時にヨーロッパの nationalism を ソヴェットの出現によって 自覚した。

大力の
の 天の道。

テララーの原理。正しい人を殺さないことが人間の原理。— それには どういう組織が必要か。

国際社会の組織化の問題と

国際社会を如何に 戦争をせずに 変え得るか。 peaceful change.

5/18.

朝永 庄長

山田 前田おまめ

田中 ベトナム

アメリカの戦後の中ロ政策が問題の中心。米中間の問題が打開の方向に進まないとベトナムは片手落ち、何処からアメリカはベトナムに手を生かしているか。朝鮮戦争以来、朝鮮戦争の発端は？、中ロが派生したものか。これは一致している。朝鮮戦争に中ロが参加したことは以外に中ロがアメリカに直接被害を与えたり口永威信を傷つけたことはある。中ロ同盟の内と外。

中ロ自衛。大攻大戦が起きた時はアメリカが送るべき道。1. 中ロから手を出さず、2. 大規模な兵力を投入して中ロを駆逐してやる。3) 口永威信を助ける。3) を「聖人」が、2) は理論的に見ても困難的に見ても知らぬが「実行不可能」であったと云った。

何故にフランスを助けて干渉している。(甲子に兵長想)

もし中ロが公然と介入したらどうするか。→ 5ヶ口で合併したか、結果は出なかった → アイウに引いて「2ヶ口合併」の前。アメリカは合併に反対。直接干渉以外に手はないと考えた。

丸山

内題長

1. 口連を始めとする口降諸組織が口降社会の現状を忠実に反映するようになり、
口連は、口連改革口降委を設けし、口降中、中ロを招待する。

2. 累った社会体制及び累った文化圏の間の平和共存(の原則)
世界唯一の秩序 累った価値体系による法政府が存在していることを認める。

累った文化圏の間の交流を行って考えを整理する。
どの口も世界のケレベの顔としたい。

累った文化圏の間の交流を行って考えを整理する。
累った文化圏の間の交流を行って考えを整理する。

3. 植民地独立の次第の完成について口連が責任をもつこと

4. 流動地域の問題の平和的解決

努カハライが確定している地域は東南アジア、中華、アフリカ

i) いずれも特区内に對立する諸勢力に兵士兵隊軍事物品の直接的援助をしないこと。

ii) 利害関係者の一方的経済援助によるもの。對立する関係者の共同援助の形をとる (経済主目的の原則)

iii) 流動地域に對するだけ disengagement 地帯にはりめぐらす
military

iv) 旧植民地と植民地口との対立や対立の解決を絶つこと

5. 分割国家の問題の平和的解決 ^{方式} ドイツ, 朝鮮, ベトナム.
- i) 究極的には統一を目的とする。急いではいけない。
 - ii) 分割国家の境界線を非武装化する。(ドイツカンセン)
 - iii) 分割国家内の交流を促進する。
 - iv) 各口政府による国境の承認。

6. 全面完全軍縮の実現

湯川. 国家主権の相対化は原則にできないか。

丸山. 対極点と関係がある。前提として政治を歴史に反映した口国組織を作つてこれに責任を押し付けることに抑はれない。

田中. 憲法現実の中には 4 と 5 が入つてゐるのではないか。

丸山. 差当りしてゐるから。

田中. チェコスロバキアで「バレンバーク」が「ポーランド」問題を ~~解決~~ 解決した。口国といふ意義に基づいてチェコスロバキア各戦後処理を行うべきで、チェコはそれと全然反対ではないか。といふことでこれは口内閣に面白い問題だ。

久野. frame of reference を変える必要がある。

田中. アメリカが世界中に ^{互に侵略に對し} 非コミットメント政策 (条約 etc.) ドミニカ島のバグ。

条約. NATO	— 口内が統括するに奨励される	}	外部的の公然攻撃を防衛	11
			内閣侵略に對抗する	13
Qualified commitment	↑ 口内が統括するもの。	}	外部的の公然攻撃を防衛	11
			内閣侵略に對抗する	13
一時的な意思表示.	doctrine.		外部的の aggression を防衛	9
			subversion を抑える	13

④

アメリカの中口政策はチェコスロバキア会議までは決つてゐるかつた。口民衆政策が続くことが前提に立つてゐた。それ以後 ^{その} 決つたことはチェコスロバキアに入つてゐるかつたことばかり。(僅か 5 年以内)

原爆投下 → 原爆力の口際管理の失敗。原爆力争を始めることができなかった。中口大陸が中口人民自らの手で共産党政権に統一された。(スターリンの手によって)

植民地争争の高まり。

朝鮮戦争。

⑤. 口は現在 85 に近づいた。恐怖の観念。

アフリカ人を恐るるなれ、アフリカ人を軽侮するなれ。
アフリカをバラム物語は米中問題。
又物、アフリカでもスターリン崩壊にはある。ドラマが行われた（ルズベリフ以後）。その書き手は
誰であるか。

湯川 彦長

池からどらやつて行くか。
平和の公理系。